



千支の絵・デザイン：瀧川秀敏

Public Information **OBHIRO**

おびひろ

平成29年
(2017年)

1

No.1112 January

発行：帯広市
 編集：政策推進部広報広聴課
 〒080-8670
 帯広市西5条南7丁目1番地
 電話(0155)24-4111
 FAX(0155)23-0151
 帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

11月末の人口と世帯数

人口 ▶ 168,159人
 (前月比-113人)
 男 ▶ 80,197人
 女 ▶ 87,962人
 世帯 ▶ 86,572世帯
 (前月比-57世帯)

11月の火災発生件数

3件 (前月比+1件)

11月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,067t
 (前年同月比-42t)
 資源ごみ(Sの日)量 579t
 (前年同月比+31t)

今月の紙面

新春対談2017 2~4



帯広畜産大学 学長 奥田氏と、これまでの経験、十勝・帯広の価値や可能性を語ります。

お正月はばんえい十勝へ 5

サービスが広がるマイナンバーカード ... 6

冬の災害に備える 7

十勝・帯広の可能性を信じ たゆまず挑戦

帯広市長 米沢 則寿



市民の皆さま、あけましておめでとございます。健康やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。今、十勝・帯広は、不透明さを増すグローバル経済の潮流の中で、少子高齢社会への対応や災害復旧など、乗り越えなければならぬさまざまな課題に直面しています。

これまで、十勝の皆さまとの強い結び付きの下、「フードバレーとかち」を旗印に、農林漁業を成長産業にし、食の価値を創り出し、さらにはその魅力を広く発信することで、地域活力の向上につなげる取り組みを進めてきました。こうした積み重ねに加え、消防の広域化や地域医療体制の構築など、安全・安心な暮らしづくりに真正面から向き

合ってきた十勝・帯広は、道内の他地域に比べて、安定した人口、産業経済力を維持しながら、地域の強みや資源をいかした地方創生の先駆けとして期待されています。今を生きる私たちが、先人が重ねてきた歩みに学び、未来に向かって、十勝・帯広の新しい歴史をつくり上げていくため、この地域の明るい可能性を信じながら、直面する課題をチャンスに変え、自らやりきる覚悟をもって挑戦し続けなければならないとの決意を新たにしているところです。



**すべての市民が輝き
誇れるまちの実現**

帯広市議会議長 **小森 唯永**

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには希望あふれる輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年の十勝・帯広は、相次いだ台風の影響により、基幹産業である第1次産業への被害は特に甚大なものとなりました。また、河川敷地の芝生広場や運動施設などが利用できなくなるなど、今なおさまざまな場面で市民の暮らしに影響を及ぼしています。議会といたしましても早急な復旧作業に取り組めるよう、全力で対応してまいりました。

さて、帯広市議会では議会基本条例に基づき、分かりやすく開かれた議会運営に努めております。昨年は、高校生を対象とした意見交換会を行

い、すべての市民が輝き誇れる「おびひろ」のまちの実現に向けた多くのご意見をいただきました。帯広市の将来を担う若者との意見交換の大切さを改めて感じたところです。

近年、地方議会には、住民を代表する意思決定機関の役割だけでなく、住民の意思を反映した政策立案機能の強化が求められており、我々が果たす役割はますます大きくなっていくものと考えております。今後ともこうした役割に十分応えていく所存であり、市民の皆さまには変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして健やかで幸多い年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。